

# 令和3年度事業報告書及び財務諸表



株式会社 いわみ道の駅

事業報告 〔 令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで 〕

1. 現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

「道の駅きなんせ岩美」は令和3年7月で開店6周年を迎えました。昨年発生した新型コロナウイルスは世の中を一変し、私たちの生活もままならない状況が続いていますが、本年度は新型コロナウイルス(変異株オミクロン株)による感染拡大が全国的に継続し、「道の駅きなんせ岩美」の商圈とする県内外 特に関西・中国圏で非常事態宣言、まんえん防止対策等により、県をまたいでの往来が自粛される等の影響で、来店客数は期待数までの回復にはいたりませんでした。この様な中で、ご来店いただいているお客様の現状を把握するため、集客の多い土・日曜日にアンケートを実施し、ご来店いただいているお客様の分析、お声を集め事業に反映をおこないました。

営業面では、引続き顧客満足を第一に考えサービスの向上、品揃え、欠品の防止対応に努め、岩美町のお土産品が少ない中で、岩美町の特産品を使用した商品づくりに取り組み、新たに岩美産トマトを使用した「いわみとまとセゾン」、「ほたるいかの船上沖漬」、「棚田米を使用したポン菓子」等の商品開発に取り組みました。また、コロナ禍で引き続き巣ごもり需要の対応を図るため、通信販売に取り組みを行ない、コロナ終息後を見据えた来店促進のため、「岩美町・道の駅きなんせ岩美」の魅力を、SNSを積極的に活用し情報発信に取り組みました。

コロナウイルス感染拡大防止対策については、不特定多数の集まる施設として、集客を図るイベントは大幅に自粛し、ご来店いただいたお客様、従業員の安全安心を守るため、引き続き感染防止対策については万全の態勢で取り組んでおります。

令和3年度の各施設の来店客数は、地域施設全体で276,796人 対前年に対して748人の増、前年に対して0.3%増となりました。来店客は若干回復したものの、売上面では前年度を割込む厳し年度になりました。

(資料I参照)

〇来店客数の推移(各店舗のレジ通過客数)

(単位:人)資料I

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域振興施設 (売施設等)	本年	21,947	23,524	22,290	23,876	25,550	26,148	25,622	27,847	23,317	16,992	16,753	22,930	276,796
	前年	18,283	13,269	22,087	25,257	29,627	28,550	27,472	27,944	22,866	16,178	20,454	24,061	276,048
	対前年	3,664	10,255	203	-1,381	-4,077	-2,402	-1,850	-97	451	814	-3,701	-1,131	748
コンビニエンス ストア (ローソン)	本年	13,981	15,342	14,646	16,281	16,017	15,673	16,031	16,574	14,338	13,470	11,814	14,035	178,202
	前年	13,742	13,787	15,560	16,296	18,514	16,677	15,627	15,760	14,379	12,559	13,825	15,782	182,508
	対前年	239	1,555	-914	-15	-2,497	-1,004	404	814	-41	911	-2,011	-1,747	-4,306
レストラン (海陽亭)	本年	1,754	2,172	1,894	2,621	2,883	2,595	2,755	3,237	2,237	1,718	1,701	2,305	27,872
	前年	1,588	2,181	2,229	2,518	3,652	3,763	3,707	3,467	2,608	1,836	2,749	2,498	32,796
	対前年	166	-9	-335	103	-769	-1,168	-952	-230	-371	-118	-1,048	-193	-4,924
テイクアウト (べるふる)	本年	855	1,073	729	1,016	1,052	1,116	1,116	1,077	825	814	622	889	11,184
	前年	662	610	809	940	1,208	1,225	1,001	1,044	600	542	843	866	10,350
	対前年	193	463	-80	76	-156	-109	115	33	225	272	-221	23	834
合計	本年	38,537	42,111	39,559	43,794	45,502	45,532	45,524	48,735	40,717	32,994	30,890	40,159	494,054
	前年	34,275	29,847	40,685	45,011	53,001	50,215	47,807	48,215	40,453	31,115	37,871	43,207	501,702
	対前年	4,262	12,264	-1,126	-1,217	-7,499	-4,683	-2,283	520	264	1,879	-6,981	-3,048	-7,648
日平均	本年	1,284	1,358	1,318	1,412	1,467	1,517	1,468	1,624	1,313	1,099	1,103	1,295	1,357
	前年	1,142	1,297	1,356	1,451	1,709	1,673	1,542	1,607	1,304	1,037	1,352	1,393	1,409
	対前年	142	61	-38	-39	-242	-156	-74	17	9	62	-249	-98	-52
営業日数	本年	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
	前年	30	23	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	356
	対前年	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8

令和3年度の地域振興施設売上高では、473,436千円で対前年同期▲7,799千円減、同比98.4%となりました。(資料Ⅱ参照)

○部門別売上高

単位:千円税抜き 資料Ⅱ

店舗別		売上実績	売上計画	売上前年実績	対計画比	対前年比	売上構成率	対前期増減率	
地域振興施設	直営	水産物直売所(魚跳屋)	70,719	72,000	70,433	98.2	100.4	14.9	0.3
		軽食コーナー(いわみのおばちゃん家)	13,827	15,000	13,283	92.2	104.1	2.9	0.2
		ふるさと納税	21,970	22,000	23,443	99.9	93.7	4.6	-0.2
		給食・麦わら帽子	11,564	14,500	14,484	79.8	79.8	2.4	-0.6
		通信販売	1,347	2,200	317	61.2	424.9	0.3	0.2
	小計		119,427	125,700	121,960	95.0	97.9	25.2	-0.1
	テナント	農産物直売所(JA)	113,265	116,300	114,831	97.4	98.6	23.9	0.1
		水産物直売所(渡辺水産)	128,395	140,000	137,328	91.7	93.5	27.1	-1.4
		委託販売等(土産等)	112,349	108,000	107,116	104.0	104.9	23.7	1.5
		小計	354,009	364,300	359,275	97.2	98.5	74.8	0.1
合計		473,436	490,000	481,235	96.6	98.4	100.0	100.0	
テナント	レストラン(海陽亭)	40,330	46,500	45,152	86.7	89.3			
	コンビニ(ローソン)	117,859	120,000	117,678	98.2	100.2			
	テイクアウト(べるふる)	5,808	5,600	5,266	103.7	110.3			
合計		163,997	172,100	168,096	95.3	97.6			
総合計		637,433	662,100	649,331	96.3	98.2			

直営全体の売上高は、119,427千円で、対前年同期▲2,533千円減、同比97.9%。直営鮮魚、直営の軽食については、営業条件改善のため利用客の増により前年を上回りました。無店舗販売のふるさと納税、給食・麦わら帽子は前年割れをしましたが、巣ごもり需要対応の通品販売は前年を上回りました。

各部門別では、「直営鮮魚 魚跳屋」70,719千円 対前年同期286千円増 同比100.4%。

他店との差別化を図るため、地元産の活のよい鮮魚・加工品の取り扱い、品揃えの補完部分で鳥取市公設地方卸売市場、近隣の仲買人より商品を仕入れて他店の差別化を図りました。また、生ごみの問題、若い層、有職主婦をターゲットに調理済みのパック、見せ方の工夫などに取り組み、固定客が確実に増えており、本年度も引続き当店の強みを生かした松葉がに茹で上げ即売会等を行い、売上高のかさ上げを図りました。

「直営軽食 いわみのおばちゃん家」13,827千円 対前年同期544千円増 同比104.1%。

新型コロナウイルス感染防止のため客席数の減などにより、売上は大きく回復していませんが、利用客は増となっております。引き続き地元の野菜・鮮魚を積極的に使用、既製品ではなく手作りのメニューが好評いただいております。特に、地元食材を使用した日替わり定食、さしみ定食についてはお客様より大変好評を得ております。

「ふるさと納税」21,970千円 対前年同期▲1,473千円減 同比93.7%。

岩美町特産品の松葉がには、11月6日解禁以降今までに無い価格が高騰し高値で推移しました結果、受注を早期に打ち切りました。また、前年好調だった精肉、いちご等の受注が少なく前年を割込みました。

「給食・麦わら帽子」11,564千円 対前年同期比▲2,920千円減 同79.8%。

給食は、地元産の安心安全な農産物を優先し地産地消を進めてまいりましたが、本年度は受注が少なく前年割れ、。麦わら帽子は、旬の岩美町の特産品を提案してまいりましたが、引続きコロナ禍の影響により前年を割込みました。

「通信販売」1,347千円 対前年同期1,030千円増 同比424.9%。

昨年8月より協力隊1名を配置し、現在の出品商品の見直しと、新しい岩美町特産品の開発を進め、SNS等積極的に活用し打ち出しを行っております。

続きまして、地域振興施設内のテナント売上高は各店舗ともにコロナ禍の影響により、売上高は前年を確保することは出来ませんでした。農産直売所JA 113,265千円 対前年同期▲1,566千円減 同比98.6%。水産直売所マルワ渡辺水産 128,395千円 対前年同期▲8,933千円減 同比93.5%。と厳しい結果に終わりました。

託販売(土産等)につきましては、112,349千円 対前年同期5,233千円増 同比104.9%。

昨年と比べ県外客の増に伴い、土産品が好調、また、新開発商品、惣菜などの新規取り扱い、買い回り商品の好調で大幅な伸びとなりました。

周辺テナントにつきましては、全体で163,997千円 対前年同期▲4,099千円減 同比97.6%。

各店につきましては、レストラン海陽亭 売上高40,330千円 対前年同期▲4,822千円減 同比89.3%。コンビニローソン 117,859千円 対前年同期181千円増 同比100.2%。テイクアウトべるふる 5,808千円 対前年同期542千円増 同比110.3%。

道の駅きなんせ岩美全体の売上では、637,433千円 対前年同期▲11,898千円減 同比98.2%と昨年に引続き厳しい結果になり、売上総利益では、61,159千円 対前年同期▲1,179千円減 同比98.1%になりました。

一方販売費及び一般管理費は、59,600千円 対前年▲494千円の減、同99.2%になりました。本年度も、コロナ禍で来店客数、売上高が不透明であり、経営の基本である、「入るを量りて出するを制す」の考えの基、経費削減を行いました。特に削減経費では、リース物件の満了によるリース料の減額、消耗品費・消耗備品費・修繕費削減によるものです。一方、本年度につきましては水道光熱費における電気代が高騰しており、前年を大幅な増、また、厳しいコロナ禍において日々ご奮起いただいている従業員に報いるため、賞与の増額、最低賃金の改正等により人件費は増額となりました。結果、営業利益段階では、1,558千円の利益となりました。営業外損益につきましては、本年度、事業外収益として、未回収期限切商品券、国交省電気代遡及分・施設管理費、協力隊委託料等13,832千円を計上いたしました。事業外費用では、国交省施設管理費、道の駅交流事業費等7,336千円を計上し、税引後当期純利益は6,522千円の黒字を計上致すこととなりました。

なお、剰余金処分案でございますが、後ほど経理担当より詳細はご報告いたします。内容につきましては、当期純利益分を繰越利益剰余金としたいと考えております。

## (2) 設備投資の状況

当事業年度において、特記すべき事項はありません。

## (3) 資金調達の状況

当事業年度において、特記すべき事項はありません。

皆様におかれましては、何卒引続き倍旧のご支援ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区分	平成26年度 (第1期)	平成27年度 (第2期)	平成28年度 (第3期)	平成29年度 (第4期)	平成30年度 (第5期)	令和元年度 (第6期)	令和2年度 (第7期)	令和3年度 (第8期)
売上高	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
(△は損失)	0	242,524	346,486	420,413	471,267	528,320	481,235	473,436
経常利益	0	△9,233	6,500	1,181	4,904	12,684	7,079	8,054
(△は損失)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
当期純利益	△30	△9,415	6,317	998	3,785	5,820	5,202	6,522
(△は損失)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
一株当たり当期純利益	△19 74	△4,893 45	3,283 26	518 76	1,967 08	3,024 76	2,703 73	3,389 67
総資産	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	15,484	51,439	41,280	58,208	62,325	60,596	64,875	65,897
純資産	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	15,170	9,795	16,068	17,066	20,851	26,670	31,872	38,394

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式の総数

普通株	5,000株
A種類	2,500株
B種類	2,500株

(2) 発行済株式の総数

普通株	1,520株
A種類	134株
B種類	270株

(3) 当期末株主数

普通株	6人
A種類	3人
B種類	25人

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役	吉田 喜美	道の駅きなんせ岩美駅長
取締役	宮下 正直	鳥取いなば農業協同組合理事
取締役	北村 一行	岩美町商工会長
取締役	田淵 幸一	田後漁業協同組合長
取締役	板倉 高司	鳥取県漁業協同組合副組合長
取締役	川口 博樹	岩美町観光協会長
取締役	長戸 清	岩美町長
監査役	清水 雄作	鳥取いなば農業協同組合代表理事常務
監査役	高井 清貴	岩美町商工会副会長

第 8 期

# 決 算 報 告 書

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月 31日まで

株式会社 いわみ道の駅

(法人番号:9270001006597)

# 貸借対照表

商号 株式会社 いわみ道の駅

代表者 吉田 喜美

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 60,036,534 )	I 流 動 負 債	( 26,947,694 )
金 及 び 預 金	47,155,750	流 買 未 払 法 人 税 等 金	18,897,857
掛 換 資 産	6,177,011	掛 払 消 費 税 等 金	3,953,440
卸 収 替 資 産	1,479,113	未 払 法 人 税 等 金	593,700
未 立 替 資 産	5,202,660	未 払 法 人 税 等 金	2,473,000
	22,000	商 品 券	475,197
			554,500
II 固 定 資 産	( 5,860,201 )	II 固 定 負 債	( 555,000 )
形 固 定 資 産	( 210,201 )	長 期 預 り 金	555,000
建 構 物	124,411		
機 械 及 び 装 置	1		
車 両 運 搬 具	1		
工 具 、 器 具 及 び 備 品	85,787		
III 無 形 固 定 資 産	( 150,000 )		
ソ フ ト ウ ェ ア	150,000		
IV 投 資 其 他 の 資 産	( 5,500,000 )		
差 入 保 証 金	5,500,000		
		負 債 の 部 合 計	27,502,694
		( 純 資 産 の 部 )	
		I 株 主 資 本 金	( 38,394,041 )
		1. 資 本 金	19,240,000
		2. 資 本 剰 余 金	0
		3. 利 益 剰 余 金	19,154,041
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	19,154,041
		繰 越 利 益 剰 余 金	19,154,041
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		III 新 株 予 約 権	0
		純 資 産 の 部 合 計	38,394,041
資 産 の 部 合 計	65,896,735	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	65,896,735

# 損益計算書

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

商号 株式会社 いわみ道の駅

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高 売上雑収入 / 家賃等	473,435,898 15,276,254	488,712,152	488,712,152
II 売上原価 商品仕入 棚卸仕入 容器包装費 / 商品仕入 販売雑費 / 商品仕入 その他販売費 / 商品仕入 合期末棚卸利益	422,879,633 1,281,900 1,682,683 2,100,216	1,088,189   427,944,432 429,032,621 1,479,113	     427,553,508 61,158,644
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費		59,600,187	59,600,187 1,558,457
IV 営業外収益 受雑取収利息		461 13,831,211	13,831,672
V 営業外費用 国道の活性化 省駅活損 施設管理 事業費		2,126,538 4,713,109 496,760	7,336,407
経常利益			8,053,722
VI 特別利益		0	0
VII 特別損失		0	0
税引前当期純利益			8,053,722
法人税、住民税及び事業税		1,532,000	1,532,000
当期純利益			6,521,722



販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員給与	14,294,464
広告宣伝費	320,152
役員報酬	4,200,000
役給与	14,651,894
従業員賞与	2,000,000
法定福利費	4,306,938
厚給与	333,499
減価償却金	960,000
地代	264,470
修繕費	1,982,742
消耗品費	480,000
水道光熱費	1,346,745
租税公課	880,384
接待交際費	332,663
備品費	8,573,991
施設管理費	102,718
旅支手数料	5,000
車会費	74,607
雑費	237,800
合計	59,600,187

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	1,479,113
合計	1,479,113

## 株主資本等変動計算書

商号 株式会社 いわみ道の駅

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		19,240,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>19,240,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金	当期首残高		12,632,319
繰越利益剰余金	当期変動額		
	当期純利益	6,521,722	6,521,722
	当期末残高		<u>19,154,041</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		12,632,319
	当期変動額		
	当期純利益	6,521,722	6,521,722
	当期末残高		<u>19,154,041</u>
株主資本合計	当期首残高		31,872,319
	当期変動額		
	当期純利益	6,521,722	6,521,722
	当期末残高		<u>38,394,041</u>
II 評価・換算差額等	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計	当期首残高		31,872,319
	当期変動額		
	当期純利益	6,521,722	6,521,722
	当期末残高		<u>38,394,041</u>

## 個別注記表

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 848,374円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数
- |           |        |
|-----------|--------|
| (1) 普通株式  | 1,520株 |
| (2) A種類株式 | 134株   |
| (3) B種類株式 | 270株   |

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、19,955.32円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、3,389.66円であります。

以上